

# まずは「受け入れる」ことから

高山 真緒

津保護観察所処遇部門

## ○略歴

- 平成25年4月 岐阜保護観察所企画調整課（庶務係）
- 平成26年4月 中部地方更生保護委員会事務局総務課（会計係）
- 平成28年4月 津保護観察所保護観察官（現職）

## ○1日のスケジュール

- 8:30 登庁。メールのチェック，1日の予定を確認。
- 9:00 保護司からの電話に対応  
保護観察付執行猶予者に対する就労支援制度の活用について協議。
- 10:00 保護観察処分少年の初回面接  
家庭裁判所での審判を終えた少年が，両親と一緒に来庁。保護観察の説明等実施。
- 11:00 保護観察対象者に関する調査票等を作成。
- 12:00 昼食（職場の人と，おしゃべりしながらリフレッシュ）
- 13:00 刑務所から仮釈放中の保護観察対象者の面接  
薬物再乱用防止プログラムを実施し，薬物からの離脱について動機付けを図る。
- 16:00 少年院から仮退院中の保護観察対象者宅を往訪  
担当保護司と一緒に，家庭訪問を実施し，生活状況を確認。
- 17:00 明日（保護司に対する定例研修）の準備等
- 17:15 退庁



筆者と「おかえり。」ポスター

## 業務紹介

「まずは受け入れて，信頼関係を築くこと。それがなければ，思いは伝わらない。」

これは，ある保護司さんがかけてくれた言葉です。保護観察対象者のことを考え何度も電話し，面接し・・・自分なりに精一杯指導しているつもりでしたが，状況は悪くなる一方。相手の変化を感じることができず，四苦八苦していた時のことでした。

それから私は，保護観察対象者とかがかわるとき，書類を読み，相手の話を傾聴し「相手をよく知る」ことから始めています。犯罪や非行は決して許されることではないですが，その背景には，本人が抱える何らかの「つらさ」があることが多いです。それを含め相手を理解することで，初めて思いが伝わることを学びました。

悩むこともたくさんありますが，保護司をはじめ多くの関係する方々や，経験豊富な先輩方に支えられています。まだまだ学ぶことの多い毎日ですが，人と人とのあたたかいふれあいや，人が生きることの難しさや面白さをとことん考えさせてくれる保護観察官の仕事に，やりがいを感じています。

## 受験生の皆さんへのメッセージ

保護観察官は，自分の経験全てを生かせる仕事です。人間味あふれる更生保護の世界で，熱い志を持った皆様と一緒に働ける日を楽しみにしています。

